

マイバッグ持参運動及びレジ袋有料化について

愛知県安城市経済環境部ごみ減量推進室

平成20年7月現在資料

安城市では、環境首都を目指す取り組みの一つとして、市民・事業者・行政の協働によるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減の取り組みを進めています。

事業者・市民団体・安城市の三者で安城市レジ袋削減推進協議会を設立し、市内のレジ袋有料化参加店とレジ袋無料配布中止の協定を結び、平成20年6月25日から有料化を実施しています。

【マイバッグ持参運動及びレジ袋有料化の経緯】

平成19年4月26日

第1回レジ袋削減推進懇談会開催

- 参加者
市内大型店舗、商工関係者、市民団体・NPO、その他＜新聞社関連＞、市＜市長ほか＞
- 協議事項
 - ・ 各店舗、市の現状について意見交換。
 - ・ 今後、懇談会を継続していくことで合意。

平成19年8月27日

第2回レジ袋削減推進懇談会開催

- 参加者
市内大型店舗、商工関係者、市民団体・NPO、その他＜新聞社関連＞、市＜副市長ほか＞
- 協議事項
 - ・ 今後、辞退率で目標を定めていく。
 - ・ 市が各店舗に個々に話を聞く。

平成19年11月18日～平成20年2月18日

安城市マイバッグ持参運動推進店頭キャンペーン

- キャンペーン内容
 - ・ 市民団体と市内スーパーマーケット11店舗で実施
 - ・ レジ袋削減に関する意識調査とマイバッグの配布1,968名

- ・ レジ通過者のマイバッグ持参率調査 968人中 286人持参率 29.5%



参考資料 1：安城市マイバッグ持参運動推進キャンペーンの概要

参考資料 2：レジ袋・マイバッグアンケート実施結果

平成19年11月19日

第3回レジ袋削減推進懇談会開催

○ 参加者

市内大型店舗、商工関係者、市民団体等、その他＜新聞社関連＞、市＜副市長ほか＞

○ 協議事項

- ・ マイバッグ持参率の目標を50%とする。
- ・ 平成20年10月を目処に有料化を進める。
- ・ 推進懇談会を協議会にし、参加店舗を増やす。
- ・ 県のレジ袋削減取組店制度に参加していただくよう推進する。
- ・ 話し合われた内容を、各店舗で協議していただく。

平成19年12月～20年1月

レジ袋削減推進協議会設立に向け、懇談会未参加店・市民団体に参加を呼びかけ

○ 対象

・ 店舗

市内スーパー、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンター、フランチャイズチェーン協会、チェーンストア協会、あいち中央農協等

・ 市民団体

町内会長連協、子ども会育成連協、小中学校PTA連協、婦人会協議会

○ 内容

懇談会参加店も含め、各店舗に協議会への参加意思をアンケート調査にて確認。

平成20年1月31日

安城市レジ袋削減推進協議会設立準備会開催

○ 参加者

推進協議会参加予定の市内店舗、商工関係者、市民団体等、その他＜新聞社関連＞、市＜副市長ほか＞

○ 協議事項

- ・ 協議会への参加予定状況報告。
- ・ 平成20年10月レジ袋有料化の予定を6月末に早める。

平成20年2月

公募写真による安城市マイバッグ持参運動推進キャンペーンポスター（6種）の作成と掲示（店舗、町内会等）、チラシの作成と配布（町内会、学校等）

○ キャンペーンポスター



平成20年2月18日

第1回安城市レジ袋削減推進協議会開催

○ 参加者

市内店舗、商工関係者、市民団体等、その他＜新聞社関連＞、市＜副市長ほか＞

○ 協議事項

- ・ 会則の決定
- ・ 会長・副会長の選出
- ・ 平成21年3月31日までに各店のレジ袋辞退率50%以上を目標とすることとする。
- ・ 平成20年6月25日から賛同を得た店舗によりレジ袋有料化を開始することとする。

参考資料3：安城市レジ袋削減推進協議会会員一覧

参考資料4：安城市レジ袋削減推進協議会会則

平成20年3月7日

安城市商店街連盟に説明

平成20年3月13日

第2回安城市レジ袋削減推進協議会

○ 協議事項

- ・ 協定の検討
- ・ 募集要項の決定

平成20年4月1日～15日

レジ袋有料化参加店募集（主管課：企画部環境首都推進課）

○ 応募条件

- ・ 安城市内に店舗があること。
- ・ 安城市内の店舗において、お客さまに対しマイバッグ等の持参を呼びかけるとともに、平成20年6月25日よりレジ袋の無料配布を中止し、レジ袋の削減を推進すること。
- ・ 安城市内の店舗において、レジ袋の辞退率を平成21年3月末までに50%以上の目標を掲げること。また、前年度比の削減率と削減量の目標を設定すること。
- ・ 有料レジ袋の収益金が出た場合は、環境保全活動等の社会貢献活動に活用すること。
- ・ この協定に関する活動内容について、定期的に安城市レジ袋削減推進協議会に報告するとともに社会に公表すること。

平成20年4月9日

第3回安城市レジ袋削減推進協議会開催

- 協議事項
 - ・ 協定の決定
 - ・ 協定締結式の決定

参考資料5：安城市レジ袋削減に関する協定書

平成20年5月2日

安城市商店街連盟参加申し出店に説明

- 対象
レジ袋配布を行っており、有料化に参加意向の個人商店

平成20年5月13日

安城市レジ袋削減に関する協定締結式

- 協定締結店舗
15事業者32店舗及び安城市商店街連盟加盟の6店舗



- 協定内容
 - ・ 店舗の役割
 - ・ レジ袋無料配布の中止、マイバッグ等の持参の呼びかけ
 - ・ 平成21年3月末までにレジ袋辞退率50%以上の達成（50%以上で各事業者が設定）
 - ・ 有料レジ袋収益金を環境保全活動や社会貢献活動に活用
 - ・ 安城市レジ袋削減推進協議会の役割
 - ・ マイバッグ等の持参を促進する活動
 - ・ 参加店舗への支援
 - ・ 活動内容の効果の調査、公表
 - ・ 市の役割

- ・ 啓発活動の実施

平成20年5月13日～

レジ袋有料化啓発品の作成、配布

- 啓発用品内容
 - ・ ポスター（参加店舗、町内会等）
 - ・ チラシ（参加店舗、町内会等）
 - ・ のぼり（参加店舗）
 - ・ レジ用ステッカー（参加店舗）
- 有料化啓発用ポスター



- 有料化啓発用ポスター（外国語版）



平成20年5月21日～6月24日

レジ袋削減推進協議会（市民団体）と有料化参加店舗でキャンペーンを実施

- キャンペーン内容
 - ・ 啓発用ティッシュペーパーの配布
 - ・ 「レジ袋削減・マイバッグ持参促進店頭アンケート」協力者にマイバッグを配布

5月21日出陣式 市役所庁舎前



ノーレジ袋キャンペーン



参考資料6：レジ袋削減・マイバッグ持参促進店頭アンケート結果

平成20年6月25日

レジ袋の有料化開始

○ 有料化参加店舗

15事業者32店舗及び安城市商店街連盟加盟の23店舗

協議会正副会長および市長・副市長視察



安城市マイバッグ持参運動推進キャンペーン概要

1 目 的

みなさんが普段の買い物時に、何気なくもらっているレジ袋は、軽くて丈夫な上に耐水性があり、生活の上で身近な物となっています。

しかし、このレジ袋を作るには、大量の原油やエネルギーが使われ、一部のレジ袋は再利用されているものの、最終的には大部分のレジ袋が焼却処理されています。

循環型社会の形成及び地球温暖化防止のために、安城市はレジ袋削減を目指してマイバッグ持参運動を推進します。

2 レジ袋削減効果に関する予想数値

レジ袋を安城市内で50%削減できれば、433世帯が1年間に使う電力を節約できます。

○ レジ袋削減によるCO₂発生の削減

レジ袋1枚（10g換算）あたりの製造及び焼却で約60gのCO₂が排出されます。

安城市のレジ袋年間消費量約420tで算出すると、約2,520tのCO₂が排出されていると見込まれます。

安城市内で消費されるレジ袋が半分になると、約1,260tのCO₂排出が削減できます。

○ レジ袋削減による原油の削減

レジ袋（Lサイズ）を1枚作るのに、原油約18.3mlを使用しています。

安城市のレジ袋年間消費枚数は

約178,000人×240枚＝4200万枚

安城市のレジ袋製造時の原油使用量は

4200万枚×18.3ml＝768,600リットル

50%の削減が達成されると、約384,300リットルの原油の消費が抑えられます。

○ 削減された原油を電力に換算（発電効率38.1%と仮定）

1原油換算リットル＝4.115KWh

1世帯あたりの平均電力消費量は年間3,656.4KWh（2005年度）

（出典：「原子力・エネルギー」図面集2007）

384,300リットル×4.115KWh÷3,656.4KWh＝

432.5世帯

安城市内の約433世帯分の年間消費電力が賄えます。これは、本市の総世帯数65,500世帯の約0.66%にあたります。

3 マイバッグ持参運動推進の経過と今後の進め方

○ 店頭キャンペーン（実施済分）

期日：2007年11月18日～2008年2月18日

場所：市内スーパーマーケット11店舗

内容：レジ袋削減に関する意識調査とマイバッグの配布 1,968名
レジ通過者のマイバッグ持参率調査

968人中286人 持参率29.5%

○ 今回のキャンペーンポスター及びチラシの作成・配布先

ポスター 900枚 市内店舗、公共施設、町内会

チラシ 30,000枚 小中学校、町内会

○ レジ袋有料化に向けて、市役所が主導的な役割を担います

2007年4月に施行された改正容器包装リサイクル法で大規模事業者に対し有料化などによるレジ袋の削減を求めています。しかし、レジ袋の有料化の導入にあたっては、1事業者ごとの取り組みでは営業面で様々な障害が予想され、なかなか有料化に踏み切れないのが現状です。

そこで安城市では安城市レジ袋削減推進協議会を設立し、市民、事業者、と市役所が協働してレジ袋の削減に取り組むことにしました。

特に市役所は主導的に推進役を務めます。レジ袋削減に熱心に取り組む事業者を強力にバックアップし、マイバッグ持参促進を市民にアピールするためキャンペーンを市内の主な大型店舗で実施していきます。

○ 安城市レジ袋削減推進協議会によるキャンペーン推進

構成：事業者団体20、市民団体8、安城市の29団体

事業：レジ袋削減を目的に、マイバッグ持参促進及びレジ袋有料化に向けた啓発などを行ないます。

○ レジ袋有料化の導入

安城市レジ袋削減推進協議会と市と各店舗の三者がレジ袋の無料配布を行わないことを規定した協定を締結し、6月25日から一斉に市内店舗でレジ袋の有料化を実施する予定です。

レジ袋・マイバッグアンケート（平成 19 年度実施結果）

あなたのことに最も近い番号に1つ〇をつけてください。

問1 あなたは週何回スーパーマーケットで買い物をしますか。

1. ほぼ毎日 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回
4. 月に数回 5. その他（回）

問2 スーパーに行くとき「マイバッグ」や「マイかご」などを持参していますか。

1. いつも持参している 2. 時々持参している
3. ほとんど持参していない 4. 全く持参していない

問3 マイバッグなどを持参するのはなぜですか。（持参する人のみ）

1. 特典があるから 2. 環境に良いから 3. 持ち運びが楽だから
4. 格好が良いから 5. その他（） 無記入

問4 マイバッグなどを持参しないのはなぜですか。（持参しない人のみ）

1. レジ袋が必要だから 2. マイバッグなどを持つのが面倒だから
3. もらえるのが当然だから 4. その他（） 無記入

問5 全国では、レジ袋の有料化を行っている地域がありますが知っていますか。

1. 詳しく知っている 2. 聞いたことはある 3. 知らない

問6 レジ袋の有料化についてどう思いますか。

1. 賛成 2. 反対 3. どちらでもない

・ その理由を教えてください。

（）

問7 レジ袋が有料の場合、1枚何円ぐらいが妥当だと思いますか。（単一回答）

1. 1円 2. 2～4円 3. 5円 4. 6～9円
5. 10円 6. その他（円）

問8 もし、利用しているお店がレジ袋を有料化したらどうしますか。

1. マイバッグを持参する 2. レジ袋を買う 3. 店をかえる
4. その他（）

問9 あなたのことにしてお聞きします。

- ・ 性別 1. 男 2. 女 未記入
・ 年代 1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代
7. 70代以上 未記入
・ 職業 1. 会社員・公務員 2. 自営業・自由業
3. 専業主婦（夫） 4. 学生
5. パート・アルバイト 6. 無職
7. その他（） 未記入

買い物には
マイバッグ

始めようごみ減量20%

安城市

ご記入ありがとうございました。

安城市レジ袋削減推進懇談会

安城市レジ袋削減推進協議会 会員一覧

会社名	店名		
(株)アオキスーパー	安城古井店	東明店	
(株)イトーヨーカ堂	安城店		
(株)西友	安城店		
(株)ドミー	安城横山店		
(株)バロー	安城店		
(株)フィールコーポレーション	フィールD街道		
(株)三河屋	安城パワーセンター		
(株)ヤマナカ	新安城店	安城フランテ館	
ユニー(株)	ユニー安城店	アピタ安城南店	ラ フーズコア三河安城店
(株)ユーストア	福釜店	東栄店	
日本チェーンストア協会	中部支部		
(株)ジップドラッグ	白沢 古井店		
(株)スギ薬局	桜井店	東栄店	法連店
	安城錦町店	安城中央店	百石店
	三河安城店	安城今池店	住吉店
(株)スギヤマ薬品	安城店		
中部薬品(株)	V+drug安城南店		
あいち中央農業協同組合	Aコープ安城南路店	グリーンセンター安城西部	グリーンセンター安城北部
	産直センター道の駅デンパーク	産直センター安城桜井	産直センター安城東部
みかわ市民生活協同組合	コープ安城よこやま		

団体名
安城市商店街連盟
安城中央商店街連盟
安城商工会議所
安城エプロン会
安城市消費生活学校
エコネットあんじょう
エコネットあんじょう 暮らし部会
中日新聞販売店会
安城市町内会長連絡協議会
安城市PTA連絡協議会
安城市子ども会育成連絡協議会
安城市婦人会協議会
安城市

安城市レジ袋削減推進協議会会則

(名称)

第1条 この会の名称は、安城市レジ袋削減推進協議会（以下「本会」という。）とする。

(目的)

第2条 本会は、市民、市民団体、事業者及び市が相互に連携し、日常生活や事業活動などあらゆる場面で環境への負荷を少なくするため、マイバッグ運動等を推進してレジ袋を削減することを目的とする。

(会員)

第3条 協議会の目的に賛同する市民、市民団体、事業者及び市をもって構成する。

(事業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) レジ袋の削減を図るためのマイバッグ運動の推進に関すること。
- (2) レジ袋の有料化の推進に関すること。
- (3) レジ袋の削減目標に関すること。
- (4) 市民の意識高揚を図る啓発に関すること。
- (5) その他協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(会長・副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、協議会において選任する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集する。

附 則

この会則は、平成20年2月18日から施行する。

安城市におけるレジ袋削減に関する協定（案）

〇〇〇〇〇〇と安城市レジ袋削減推進協議会及び安城市は、地球温暖化の防止と循環型社会の構築及び環境首都の実現を目指し、未来の子どもたちに良い環境を残すため、本協定を締結し市民・事業者・行政が協働して以下のとおりレジ袋の削減に取り組みます。

- 1 〇〇〇〇〇〇は、安城市内の下記店舗において、お客さまに対しマイバッグ等の持参を呼びかけるとともに、平成 20 年 6 月 25 日よりレジ袋の無料配布を行わず、レジ袋の削減を推進します。
- 2 〇〇〇〇〇〇は、下記店舗において、レジ袋の辞退率を平成 21 年 3 月末までに〇〇%以上にすることを目標とし、以降も継続的に辞退率の向上に努めます。
- 3 〇〇〇〇〇〇は、レジ袋収益金（有料レジ袋販売代金から袋原価、消費税及びその他必要経費を除いた金額）が出た場合は、環境保全活動や社会貢献活動等に活用します。
- 4 〇〇〇〇〇〇は、この協定に関する活動内容について、定期的に安城市レジ袋削減推進協議会に報告するとともにその内容を公表します。
- 5 安城市レジ袋削減推進協議会は、店舗のレジ袋削減・レジ袋無料配布中止の取り組みを積極的に支援するとともに、市民のマイバッグ等の持参を促進する活動を行います。
- 6 安城市レジ袋削減推進協議会は、この協定に関する活動内容の効果を調査し、これを評価・公表することにより本活動のさらなる拡大を図ります。
- 7 安城市は、この協定を推進するため、協定内容について効果的な啓発活動を行います。
- 8 本協定は、〇〇〇〇〇〇からの申し出により、脱退することができます。
- 9 この協定に定める事項を変更しようとするとき、この協定に定めがない事項で必要が生じたときは、協定締結当事者で協議の上、決定するものとします。

この協定の締結を証するため本書を 3 通作成し、〇〇〇〇〇〇、安城市レジ袋削減推進協議会、安城市は、署名の上各自 1 通を保有します。

（店舗名） 〇〇〇〇店

平成 20 年 5 月〇〇日

〇〇〇〇〇〇

代表取締役社長

安城市レジ袋削減推進協議会

会長

市民団体

エコネットあんじょう

安城エプロン会

安城市消費生活学校

安城市町内会長連絡協議会

安城市 P T A 連絡協議会

安城市子ども会育成連絡協議会

安城市婦人会協議会

安城市

市長

レジ袋削減・マイバッグ持参促進 店頭アンケート

市民とともに育む

環境首都

安城

行動 あなたは？	① レジ袋を断り、マイバッグを使用します 回答計 2,326 人	② 燃やせるごみを減らします 回答計 2,293 人
すでにしています	1,443人 62.0%	2,023人 88.2%
これからします	863人 37.1%	263人 11.5%
していない・ しない・その他	20人 0.9%	7人 0.3%

CO₂などの温室効果ガスを減らし、ごみ減量20%の達成に向けて安城市は

6月25日からレジ袋有料化スタート！